

給食に思いを込めて—

ちょうりじょうゆうびん 12月の予定献立表

—おらほの食材—

米・小松菜・かぶ・キャベツ・ねぎ・ごぼう・りんご
大豆・大根・あずき・白菜・青畑豆・べろ干し大根
みそ・菊芋・打ち豆・納豆など

日	曜日	料理名
1	金	ごはん、牛乳、蒸し棒餃子、キャベツのそぼろ炒め、豆腐と春雨のスープ
4	月	ごはん、牛乳、さっくりメンチカツ、切り昆布煮、厚揚げのみそ汁、お魚ふりかけ（中学のみ）
5	火	東根小バイキング給食：ごはん、牛乳、オムレツ、小松菜のごま和え、コンソメスープ、アセロラゼリー
6	水	食パン、牛乳、タンドリーチキン、茹で野菜サラダ、ミネストローネ、キャラメルクリーム（中学のみ）
7	木	雪若丸給食：雪若丸ごはん、牛乳、ポークカレー、山形県産豚ロースカツ、キャベツのマリネ
8	金	鮎貝小リクエスト給食：わかめごはん、牛乳、チーズインハンバーグ、海藻サラダ、豚汁、お米のタルト
11	月	ごはん、牛乳、揚げさんまの照りかけ、春雨のごま炒め、えのきだけのみそ汁
12	火	ごはん、牛乳、豚肉のスタミナ炒め、スパゲティサラダ、鶏ごぼう汁
13	水	山形県産米Wコッペパン、牛乳、ミートソース、チーズインサラダ、カレースープ
14	木	ごはん、牛乳、カツオカツ（タルタルソース）、ビーンズサラダ、白菜とベーコンのスープ、元氣ヨーグルト（中学のみ）
15	金	鮎貝小バイキング給食：ごはん、牛乳、照焼チキン、のりマヨサラダ、なめこのみそ汁、チーズ（中学のみ）
18	月	ごはん、牛乳、さばの味噌煮、卵の花炒り、緑黄色野菜のみそ汁

今年も町内小中学校の給食に、JA山形おきたま農政対策白鷹本部さまより山形県産雪若丸の新米100kgを寄贈いただきました。丹精込めて作った雪若丸を子どもたちに味わってもらいたいというご厚意によるものです。炊きあがりが一粒一粒しっかりと立っていて、噛み応えのある雪若丸は、カレーやチャーハンに向いているということで、12月7日の学校給食で特別メニュー「カツカレー」としていただきました。カツも山形県産豚肉のロースを使用し、県内産にこだわりました。学校給食にご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。このほかにも、子どもたちが自分で献立を選択して食べるクリスマスセレクト給食、郷土食献立・冬至献立や東根小学校・鮎貝小学校のバイキング給食など、盛りだくさんの献立を予定しています。このような取り組みを通して、給食や食べ物、食べることへの興味や関心が広がることを願っています。

19	火	麺の日：あんかけラーメン、牛乳、野菜餃子、ほうれん草のおかか和え
20	水	セレクト給食：食パン、牛乳、鶏肉のレモン漬、キャベツとほうれん草のごまサラダ、マカロニスープ、いちごケーキ or チョコケーキ or カップデザート
21	木	郷土食献立：ごはん、牛乳、厚焼き玉子、べろ干し大根煮、菊芋の味噌汁、白鷹産大豆の納豆
22	金	冬至献立：ごはん、牛乳、五目野菜の肉団子、カミカミサラダ、白菜と打ち豆のみそ汁、あずきかぼちゃ
25	月	ごはん、牛乳、松風焼き、米粉麵の和え物、あざりのみそ汁

※この他、毎日牛乳が1本付きます。
※材料の都合により、献立を変更する場合があります。
※児童・生徒のご家庭には事前に配布しています。また、町のHPにも掲載していますのでそちらもあわせてご覧ください。
※材料調整や手配の都合上、この時期の掲載となります。ご了承ください。

吹奏楽部第20回定期演奏会～万里一空～

11月5日（日）に荒高吹奏楽部の定期演奏会が開催されました。当日は、OB・OGをはじめ、ゲストとして白鷹中学校吹奏楽部、サクソ奏者の横澤徹氏、ドラマーの鈴木邦明氏らを迎え、盛大なステージが繰り広げられました。約250名もの方々にご来場いただき、感謝申し上げます。



ステージの様子▶

荒高掲示板

第20回定期演奏会
魅力発見ツアー

白鷹町内産業魅力発見ツアー


10月下旬に、1年生の生徒が、町の企業や団体についての見学・学習を行いました。これは昨年度から始まった企画で、町の全面的な協力のもと実施しました。生徒達には多くの発見があったようです。



制作の様子を間近で体験



企業の方の説明を熱心に聞く



あゆみしる
白鷹町歴史民俗資料館
物 語 つむぐ みんなで

白鷹町大字十王
2558 番地 1
☎ 88-7160
開館日：金・土・日
時 間：9時～17時
年末年始は 12/29
～1/3 まで休館

冬の遊び道具を展示中！

現在、文化交流センターで開催されている企画展「白鷹町の民具×農具ミュージック」には、あゆみしる所蔵の民具を多数出展しています。昔の雪遊びに使った竹を割って作った竹スケートや、女の子が履いていたズリ（右上写真：底面に竹を貼った履き物）、箱ざりがあります。当時、素足でズリを履いていたという話もあり、子どもの遊びにかけるエネルギーに驚かされます。右下の写真は昭和30年の荒砥小学校の児童たちです。笑い声が聞こえてきそうな写真で、こちらも展示しています。



ズリ



会場は文化交流センターあゆむ（鮎貝）です。お間違えなく！
期 間：1月14日（日）まで
観覧料：一般 500 円、大学生・高校生 200 円、
中学生以下無料
休館日：12月29日～1月3日、9日

町報川柳 一 向

向かい風追い風にする凄人	十王 守谷 勝助
日だまりで孫と一緒に日向ぼっこ	菖蒲 小関 弘
しゃぼん玉うまく乗れない向い風	高玉 橋本つね子
晩酌は明日に向けてのエネルギー	鮎貝 植木 英夫
向うでおいと手を上げてても違う家の彼は左きき	山口 渡部喜美子
少しずつ方向ずれて八十年	坂戸市 安達 功
拉致悲し何故にそっぽ向く北の国	荒砥乙 保科 努
向こう側逝く人皆が軌跡もつ	浅立 梅津美千子
向日葵に教わる素直学びたい	箕和田 土屋 平敏
お見合いで向かい合わせの何かたる	箕和田 土屋 敏子
向い風進まぬ足が棒立に	山口 石川與次衛門
冬の暖助かるべランダ南向き	浦安市 鷹山 悠介
向こう岸おーいと呼んで渡し舟	高岡 安部 健一
我が町が向こうの光にトドクマデ	畔藤 安達 次男
方向も気分次第の散歩道	高玉 高橋 朝子
お日様オハヨー皆をほげまし温かく西山の向へ	広野 新野智耶子
友想い机に向い手紙書く	十王 松野いせ子
寒くなり心折れずに前を向く	荒砥乙 木口 とよ
風向が変わりもうすぐ白いものがふってくる	浅立 鈴木 道子

次回「宮」十二月二十五日まで／「若」一月二十五日まで（※作品には、ふりがなを振ってください）
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛